

☆きらりII☆

令和6年1月19日（金） No.47



《めざす子ども像》

○かしこい子

○やさしい子

○元気な子

— 役に立つ喜びを知る子 —

校長：須藤 美香 Tel:0880-24-0006

1月の生活目標：めあてをもって体力をつけよう（マラソン大会に向けて）

人権・道徳参観日 1月16日

先日は、寒い中平日にもかかわらず、ご来校いただきありがとうございます。参観授業では、今一番関心の高い防災に関わる学習や道徳教材を使った学習、日頃の生活を見直す学習等学年に応じた授業がなされたのではないかと思います。



誰もが過ごしやすい避難所にするために大切なこととは？

道徳については、学校での学習と関連させて、毎学期2回程度ご家庭に「家庭で取り組む・高知の道徳」を持ち帰りをしています。お子さんと一緒に考えたり話し合ったりしてくださり、高い意識をもってご協力をいただいていることに感謝申し上げます。また、人権は「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」と定義され、人権教育は「人権感覚」を育て、問題が起こったときに「解決したい」と思う「人権意識」を芽生えさせる目的があります。どちらの教育も大切にしながら、今後も子ども達の健やかな成長を願って取り組んでいきたいと思ひます。



親切にするとどんな気持ちになるのかな？

講演会では、「多様な性についての理解と支援～性的指向と性自認～」と題して、高知県教育委員会事務局人権教育・児童生徒課主任社会教育主事 中澤 章 様に「多様な性について」「性的マイノリティをめぐる現状」「だれもが安心して過ごせる学校・家庭（地域）づくり」等、資料をもとに多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。講演の中で特に心に残ったことについてご紹介します。



くらしの中のユニバーサルデザインとは？



◇SOGI (Sexual Orientation&Gender Identity)とは

人はそれぞれの好きになる性（性的指向）と心の性（性自認）をもつ。おたがいにそれぞれを尊重していこうという考え方。

◇性的マイノリティをめぐる現状として直面する様々な課題（・正確な情報が得にくい・ロールモデル（手本）がない・家族と共有ができない・社会の偏見と差別 等）があり、孤立感や自己否定感を感じてしまう。

◇性的マイノリティの児童生徒が安心して生活できる環境をつくるためには、学校が多様な性について学ぶ機会をつくり、保護者にも多様な性について正しく理解してもらうことが大切。

◇学校での取組として、教職員間で多様な性について共通認識を図る・性的マイノリティの児童生徒がいることを前提としたうえで、言動や環境整備・からかいや差別的言動はそのままにしない。

今年もやります！

縦割り班会議「みんなでなかよく楽しもう会」

昨年からはじめた全校縦割り班での話し合い活動「縦割り班会議（みんなでなかよく楽しもう会）」を行い、全校レクについて話し合いました。今年度は、1・2班、3・4班、5・6班、7・8班の4グループに分かれて、6年生が司会や記録等運営を行い、子ども達だけで話し合いを進めました。昨年度の課題として、「集団遊びの経験が少なく遊びに広がりが無い」ということが挙げられていました。今年度は、各学年での学級活動が活発化し、話し合いも活動も深まりや広がりが出てきました。そんな中での縦割り班会議（みんなでなかよく楽しもう会）でしたので、昨年より多くの意見が出されていました。6年生が、意見をつないだり、意見を引き出したり、意見をまとめたりと話し合いを進めてくれる中で、不安な意見には改善策を出したり、二つの意見を合わせたりとたくさん意見が出され、「折り合い」をつけながら話し合いができていました。6年生がよく頑張ってくれていました。また、上級生に負けないうらい下級生も一生懸命考え意見を出す姿が見られました。決まった遊びについては、2月のきらりタイムを活用して実施していきます。



提案理由
学校アンケートの中で、みんなが校生活を送れるために、レクをした意見がたくさんあったこと、東又小の話し合いのめあて
1年生から6年生まで、全校のみんなが仲良く楽しく遊ぶことのできるレクを考える。

「提案理由」や「話し合いのめあて」を意識して、話し合いがぶれないようにみんなで考えていきます

賛成意見や不安な意見など自分の考えを出し、意見を比べ合って「みんなで」できることを決めていきます

全員合格！快挙です！

「声に出して読みたい日本語」を校長室前や各学年に掲示して「できる人は暗唱に挑戦しよう」と始めて3年目となります。「十二支」を全員が暗唱できました。とても嬉しかったです。一生懸命言う姿がかっこいいです。次の課題への挑戦も期待しています！